

第 75 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 4 年 5 月 17 日 (火) 13 時 00 分～14 時 50 分

2. 場 所 アルカディア市ヶ谷
WEB 会議 (ZOOM システム)

3. 出席者 会 長 井上 圭三
副 会 長 楠 文代
常務理事 中村 明弘 浜岡 純治
加留部 善晴
理 事 亀井 美和子 元木 和幸
田中 芳夫 佐川 賢一
越前 宏俊 岩城 正宏
津田 裕子 篠塚 和正
監 事 富田 基郎 市川 厚
参 与 乾 賢一 本間 浩

出席理事数 13 名
会場出席 3 名 WEB 出席 10 名

4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、本日の出席理事が 13 名であり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、加留部常務理事を指名し、事務報告の後、直ちに議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録 (第 74 回理事会 : 令和 4 年 3 月 1 日開催) について、全会一致でこれを承認した。

(2) 役員改選に伴う理事候補者の選出について

今回の役員改選に伴う理事選挙の開票立会人である亀井理事から、資料 3 に基づき開票結果の報告があり、次いで井上会長から、理事候補者 16 名について説明があった。

協議の結果、下記 16 名の理事候補者を承認し、6 月 7 日開催の第 1 回通常総会に諮ることとした。

[東ブロック 8 名 (法人側 4 名・大学側 4 名)]

帝京平成大学	薬学部長	亀井 美和子 (大)
昭和大学	薬学部長	中村 明弘 (大)
昭和薬科大学	理事長	元木 和幸 (法)
帝京大学	理事・副学長	井上 圭三 (法)
東京薬科大学	理事長	楠 文代 (法)
東邦大学	副学長・薬学部長	田中 芳夫 (大)
星薬科大学	理事長	大谷 卓男 (法)
明治薬科大学	学長	越前 宏俊 (大)

[西ブロック 8 名 (法人側 4 名・大学側 4 名)]

愛知学院大学	理事・学長	引田 弘道 (法)
名城大学	薬学部長	神野 透人 (大)
京都薬科大学	学長	赤路 健一 (大)
大阪医科薬科大学	理事長補佐・ 副理事長	浜岡 純治 (法)
近畿大学	薬学部長	岩城 正宏 (大)
神戸学院大学	理事・学長	中村 恵 (法)
神戸薬科大学	学長	北川 裕之 (大)
福岡大学	常務理事・副学長	加留部 善晴 (法)

また、次期監事については、現監事である下記の 2 名について、再任したい旨提案があり、これを承認し、6 月 7 日開催の第 1 回通常総会に諮ることとした。

富田 基郎	昭和大学	名誉教授
市川 厚	武庫川女子大学	名誉教授

(3) 令和 3 年度事業報告 (案) について

小池事務局長から、資料 4 に基づき令和 3 年度事業報告書 (案) について説明があり、協議の結果これを全会一致で承認し、6 月 7 日開催の第 1 回通常総会に諮ることとした。

(4) 令和 3 年度決算 (案) 及び監査報告について

小池事務局長から、資料 5 に基づき令和 3 年度収支計算書 (案) 等関係書類の説明及び富田監事から監事監査結果の報告があり、協議の結

果これを全会一致で承認し、6月7日開催の第1回通常総会に諮ることとした。

また、本決算案の中で、文部科学省委託費「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」に係る令和3年度の協会負担分は、約2,775千円となった旨報告があり、これを承認した。なお、協会負担に関する取扱いについては、第74回理事会（本年3月1日開催）において了承されたものである。

**(5) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するために
必要な薬剤師の在り方等について（協力依頼）**

井上会長から、資料6に基づき、「ワクチン接種の打ち手を確保する観点等から、特例とは言え、薬剤師によるワクチン接種が実現するには、6年制薬学教育における臨床準備教育の一環として、大学において、シミュレーターなどを用いて注射の手技に関する実習を取り入れることが望ましい。」と説明があり、協議の結果、本依頼文の了承及び本趣旨に対する協力依頼文を各大学へ通知することが、併せて了承された、

なおこれに関連し、本間参与から、薬学教育協議会が実施した本趣旨に関するアンケート調査の結果についても報告があった。

(6) 学生の入学定員及び入学者数等について

井上会長から、資料7に基づき令和4年度私立薬科大学（薬学部）入学定員及び入学者数調の報告があった。

またこれに関連し、本協会の「入学定員遵守についての申合せ」については引き続き申し合わせを行うこととするが、入学定員の1.1倍以上を受け入れた大学による超過理由書の提出については、大学を取り巻く環境の変化等により、入学予定者数を見込むことが極めて難しい状況にあることから、本年度以降、超過理由書の提出は求めないこととした。(令和3年11月30日開催の第2回通常総会で了承された。)

(7) 令和3年度実務実習実態調査の結果について

小池事務局長から、資料8に基づき私立57大学を対象に実施した、令和3年度実務実習実態調査結果（病院、薬局における学生の受入割合、教員の施設訪問回数、実習経費の金額別、学生数等）の報告があった。

(8) 薬学教育協議会について

本間参与(薬学教育協議会代表理事)から、資料9に基づき以下について報告があった。

また、文部科学省の令和4年度「大学における医療人養成の在り方に関する調査委託事業(薬学教育における質保証に関する調査研究)」については、薬学教育協議会が受託し、「薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂」「薬学教育の質保証」等の調査・研究を実施することとなった旨報告があった。

① 第65回理事会

- ・令和4年度事業計画に、日本薬剤師研修センターから移管された認定実務実習指導薬剤師の認定業務及び講習会の開催運營業務が追加された。

② 第44回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会

- ・実務実習に関する現状報告がなされた。
- ・「薬学実務実習に関する連絡会議」が来年の実施期間が終了後、延長されないとすれば、本委員会の役割がこれまで以上に重要になることから、本件への協力依頼を行った。

③ 令和4年度(第8回)薬学教科担当教員中央会議

- ・薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に向けた基本方針、素案等及び今後のスケジュールを説明し、教科担当教員会議に令和3年度末に纏められた「薬学教育モデル・コア・カリキュラム(素案)」に対する意見を求めるための協力依頼を行った。

(9) 薬学共用試験について

中村常務理事(薬学共用試験センター試験統括委員会委員長)から、資料10に基づき、2021年度薬学共用試験実施状況及びCBT、OSCE本試験解析結果について報告があった。

5. その他

1) 文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」(令和元年度～令和3年度)事業の報告について

井上会長から、本委託事業については、本年3月末で終了し、「検討結果報告書」として冊子を作成し、関係大学等へ配布した旨報告があった。

2) 「第107回薬剤師国家試験」の合格発表資料の配布があった。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、
14時50分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事
(指名された議事録署名人)、監事がこれに署名捺印する。

令和4年5月30日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長 井上圭三
(押印済)

出席理事 加留部善晴
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富田基郎
(押印済)

出席監事 市川厚
(押印済)